

67期生

# 1年生学年だより

豊中市立第五中学校 2019年3月12日(火) No.39



## 『ありがとうを歌う会』をふりかえって…

～1年生感想より～



- 1年1組が最初ですごく緊張したけど練習のときくらい大きい声で歌えた。この行事では司会をしていた人やみんなの代表をしてくれた指揮者の人がいたからがんばれたんだと思う。
- 合唱は、歌っていても、女子の声がめっちゃきこえた。大切なものでは、音程をとるのがむずかしかった。
- 初めてのありがとうを歌う会で、すごくきんちょうしたけどたくさんの拍手をもらってすごくうれしかったです。
- クラス練習などで困った時にパートリーダーの子が案をだしてくれて、ちゃんと練習することができたし、アドバイスを出したときに意識してうたってくれてとてもやりやすかったです。
- 3年生の合唱がすごかった。来年今の3年生を超えたいです。
- 練習の最後にアルトの声がきこえにくいというコメントがあったときに悔しくて泣くくらい真剣真面目にやってる人がいると知って自分もがんばろうと思えました。
- 伴奏者も指揮者も同じくらいきんちょうしたりするのにとてもじょうずだった。
- 練習のときからパートリーダーが男声を引っ張っていってくれました。指揮者やピアニストもアドバイスなどをくれました。本番のときは、みんな全力でやれたと思います。



- やっぱり1番3年生の学年合唱が感動した。キレイにハモっていたし、声もたくさん出ていたし、泣いている人もいた。今までの3年間に思い出があったからこんなにいい合唱になったんだと思う。
- 3年生の合唱を聞いて、自分の学年も最後はあんな風になりたいと思った。
- 先輩方の歌声は本当に体育館にひびいていてすごかったよかったです。
- 本番までにぼくは歌詞を覚えれたし、周りの男子もだいぶ頑張ってくれたので、よかったです。3年生とあまり関わりはなかったけど、歌っている姿には感動しました。
- みんなが一生懸命練習している姿を見たり、同じアルトの人に「がんばろうな。」と声をかけてもらって、私もがんばろう！と思えた。
- 一年全員の曲はみんなで一つになれたし、大きな声で歌えたので3年生にも気持ちを伝えることができてよかった。
- 私たちも3年生になったら先輩たちみたいに後輩の心に残る歌にしたいです。
- 皆と色々な行事をやってきて、これがラストだと思うとさびしくなりました。この一年、やさしくしてくれた友達や先生に“ありがとう”を伝えたいです。
- 先輩たちはやっぱり自分たちより声も出ていた。歌の強弱もはっきりしていた。アルトとソプラノのハモリもきれいだった。
- 最後の行事ありがとうを歌う会が終わり、このわずかな時間を大切にすごしていきたい。
- 卒業式は自分はいけないから、歌で感謝の気持ちをつたえられる事ができ、本番が終わったらなんだかさみしくなりました。



みんなからの“ありがとう”のメッセージは、歌声にのせて会場みなさんにも伝わったようです。  
最後に『1年生の発表も堂々としていてすばらしかった。』という講評でした。  
保護者のみなさま お忙しい中、ご来場いただきましてありがとうございました。